

第73回「電波の日」東北総合通信局長表彰

【団体】

(敬称略:五十音順)

被表彰団体	主な功績
青森県むつ市立大平中学校 (校長 飯田 一彦)	多年にわたり「受信環境クリーン図案コンクール」に参加し総務大臣賞（令和2年度及び令和4年度受賞）をはじめ数々の上位入賞作品を制作され、学校教育を通じてテレビやラジオの良好な受信環境を守るための周知啓発に関し多大な貢献をされた。
宮城県仙台市 (市長 郡 和子)	仙台市では、東日本大震災の際に津波避難広報中の市職員と消防団員が犠牲となったことから、避難広報手段の多重化・補完のため、津波避難広報ドローンの開発を進め、令和4年10月から本格運用を開始した。 本件は世界初の事例となるLTE専用通信網で制御される自動運航のドローンによる津波避難広報であり、沿岸部の住民及び来訪者に対する迅速かつ的確な津波避難広報体制の確立に大きく貢献された。
山形県電波適正利用推進員協議会 (会長 田中 俊明)	多年にわたり電波教室の実施を通じて電波利用ルールの周知・啓発を行うことにより電波の適正な利用推進に多大な貢献をされた。 特に、近年のコロナ禍においては、感染拡大防止に配慮しながら電波教室を計画・実施し、電波利用ルールの周知・啓発活動を継続的に実施された。